



特集 気になる対談・vol.2

ベストホーム 尾崎 × ガーデンデザイナー 三村 × リフォームマイスター 坂本



尾崎 靖士
(おざき やすし)
ベストホーム統括部長

デザインコンテストで数多くの受賞歴を持つガーデンプランナー。
熱いハートでチームベストホームを牽引中。

なあと、逆に私の方もとても気になったりしています。たまたまそのお宅の前を通りかかったりすると、立ち寄りたいくらい！

実は、お客様も私たち工事をした側も、お互い気にはなっているということなんですね（笑）

尾崎 確かに…。もし自分が、と考えると、ちゃんと手入れできていなくて枯らしてしまったり、家の中も散らかって汚れていると見てもらうのも恥ずかしかったりで、家の外にしても中にもしても、お手入れに自信がないとなかなか業者さんに相談しづらい気持ちになるかもしれないです。

坂本 最近は多くの方々が共働きとかで本当に忙しくて、時間が無い中で生活をしなければならなくなっていると思います。掃除とかって面倒だし、やっぱり大変なことでもあると思うので、自分で何とかしようと思わず、どんどん頼って欲しい。私のしていることが、



坂本 陽
(さかもと あきら)

マイスターコーティング
岡山中央マネージャー
コーティング・リフォームと言う特殊な技術を用いて、住まいを美しく蘇らせるプロフェッショナル。業界内での信頼度も高く、引く手あまたなイクメン。

尾崎 お庭や室内のメンテナンスと言うと、大掛かりなものもあるけれど、こまごましたものも結構あって、わざわざ業者さんに頼むほどでもないかな…、と遠慮しがちな人が多いのですが、もっと気軽になんでも言ってほしいなあと感じています。

坂本 先日、あるお客様のところに、換気扇をきれいにしてほしい、と言うご依頼で訪問しましたが、お客様とお話ししていると、実は換気扇だけではなく、キッチンやお風呂も気になっていて…と言うご相談も受けました。なかなか自分からは言い出しづらいけど、話していると本音も見えてきて、本当はもっといろんなところに手を入れたりきれいにメンテナンスしたいと考えられている方は多いように感じます。

三村 そう言うこともありますよね。私も実際に植物を植えさせてもらったお庭は、その後どうなったか

少しでもそういった方たちの手助けになれたらいいなと思って仕事をしています。

尾崎 そうですね、ぜひ声かけてほしいですね～。ところで、例えば、普段から気を付けておくことでメンテナンスとかが劇的に楽になるようなワンポイントアドバイスみたいなもの何かありますか？

三村 ちょっとだけで良いので、気になった時に気になったところを少し触ってみる、と言うことですね。そもそも一生モノではない植物もありますが、土を変えたり少し手を入れてやることで3年長持ちした、ということもあります。手入れをすることで、自然とお庭を楽しめるようになるんですよ。少しやってみると「よし、次はこうしよう！」とその後につながっていくんです。そして何より、そうすることで日々の生活が豊かになりますから。

坂本 では僕からはお風呂のカビ対策について。皆さんお風呂のカビには苦労させられていると思います。黒いカビが付くとなかなか取れないですし。でもカビって最初は透明なんですよ。このカビがまだ透明なうちに対処するのが大切なんです！特に、天井から壁・床を拭いておくことでカビの発生をかなり減らすことができます。わざわざ掃除するというではなく、最後にお風呂に入った人が体を拭き終わった後



What's up 読者様 限定キャンペーン



各先着5名様無料



このワツツアップの記事を読んでいただいた方限定！
プロの目線で的確なアドバイスを致します！

応募方法 お電話 (0120-75-5526) または右のQRコードを読み込み、フォームに「what's up読者様限定キャンペーン」「ご希望のコース」を入力の上ご応募下さい。

応募〆切 4月15日（日）

※当選者ご本人様へのご連絡をもって発表と代えさせていただきます。
(4月中にご連絡いたします)



そのタオルそのままついでに、という程度でOKですから簡単です！私も家でそうしますよ。

三村 ちょっとのひと手間ですよね、本当に。



尾崎 お庭も家の中も、日々のちょっとしたお手入れをすることで、気持ちよく豊かな気持ちで暮らすことができるんですね。

大掛かりな改修工事をしたり大金をかけたりしなくても、ちょっとのメンテナンスで安く賢く長持ちさせることができるので、ぜひ皆さんにもチメンテナンスを楽しんでいただきたいです。

ただ、どんな風に手入れをしたらいいかな？ってまだまだ知らないこともたくさんあると思いますので、そんな時はぜひお気軽にご相談いただきたいなあと思います。せっかく工事をさせて頂いたお客様ですし、今後もずっと寄り添っていけるような関係でありたいですね。